



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

プロバスだより

第177号

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

2010年8月12日発行

編集・発行：情報委員会

POSITIVE AGING

2010～11年度テーマ

「遊び心・学ぶ心・奉仕の心」で、クラブは今年も進化します

臨時総会並びに第177回例会

日時：平成22年7月8日(木) 12:30～15:30

場所：八王子エルシィ

出席者： 58名 出席率 86.6%

(会員総数 67名、休会 0名)

1. 東山例会委員長の司会で開会
2. 会食
3. ハッピーコイン披露・バースデー報告

杉山会長から27件のハッピーコインの披露(詳細：4頁)があり、引き続き、7月のバースデー報告がなされました。



今月は、濱野幸雄、岩島寛、浅川文夫、澤渡進、高取和郎の5名の会員でした。池田ときえ会員手作りの美しいバースデーカードが会長より贈られました。

第1部 臨時総会

1. 開会
2. 杉山会長挨拶(新年度運営方針)

2010～11年度 所信



会長 杉山 友一

一年間、会長職をお預かりする杉山です。どうぞ宜しくお願い致します。本年度のキャッチコピー

は<POSITIVE AGING>です。高齢期を、前向きに積極的に過ごしましょうというお声かけです。年間の経営コンセプトは、「遊び心・学ぶ



心・奉仕の心」で、クラブは今年も進化します、と敢えてPOSITIVEに掲げさせて頂きました。本年は15年の節目として、伝統を踏まえながらも、リストラクチャリング指向で、進化の兆しが見える年として次年度へ襷をつなぎたいと考えています。

今年度の方針

- ① 委員会活動では会員負担の軽減を図りながら、活性化、効率化を達成する方策の検討。
- ② 奉仕活動の年間バランスを再考する。
「生涯学習サロン」プラスワンの奉仕活動として、子供たちの未来のために尽くしたい。広くご検討をお願いする。
- ③ 親睦活動を重視(親睦は奉仕の源泉)。すべての会員さんが「出来る時に・出来る範囲で・出来ることをする」、全員参加の体制作り注力する。
- ④ クラブ創立15周年記念事業(10/17)を通じて、地域の中に確たる地位を確立する。
- ⑤ 当クラブの知名度の向上につれて、他団体、他クラブとのパートナーシップが開けて参りました。内から外へ、外から内へ、とコミュニケーションを増幅したい。
- ⑥ クラブが有する人財を活かした「プロバス出前講師派遣事業」構築の初年度としたい。
- ⑦ 日野プロバスクラブ設立支援。
- ⑧ ハッピーコイン制度の発展的運用。
- ⑨ 会員レベルは崩さない、70名がターゲット。
- ⑩ 「引きこもらない」、「ボケない」、「世話に

ならない」、自律し、自立した高齢者は、プロバスクラブの三つの願いです。

プロバスは、月毎のオリンピック、参加することに意義があります。

各委員長さんには「より楽しそうな・より面白そうな・より為になりそうな」次なるステージの創造に向けて力をお貸しくださいとお願いしました。幸い、幹事の澤渡進会員をはじめ理事会のメンバー全員が、会員の皆様の先頭に立って「会員の為になる・クラブの為になる・地域社会の為になる」ことに情熱をたぎらせています。どうか特段のご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げ、本年度の所信と致します。

3. 議長選出

恒例により、杉山会長を選出

4. 書記・議事録署名人選出

書記：阿部治子会員

議事録署名人：池田ときえ、高瀬謙輔会員

5. 議事

第Ⅰ号議案

「2009~2010年度一般会計決算報告」

第Ⅱ号議案

「2009~2010年度活動準備資金特別会計決算報告」

第Ⅲ号議案

「第14回生涯学習サロン特別会計決算報告」

以上の議案について、荒正勝前年度幹事から報告、並びに小林時雄監査役による監査報告がなされ、挙手による採決を求めたところ、異議なく承認された。

第Ⅳ号議案

「2010~2011年度一般会計予算」(案)

第Ⅴ号議案

「2010~2011年度活動準備資金特別会計予算」(案)

以上の議案について、澤渡進幹事から提案され、挙手によって採決を求めたところ、異議なく承認された。

第Ⅵ号議案

「創立15周年記念事業計画及び特別会計予

算」(案)

宮崎浩平実行委員長、佐々木研吾事務局長より提案され、異議なく承認された後、閉会した。

第2部 第177回例会

1. 会長挨拶

総会で、所信表明を申し上げましたので、これから幹事以下、各理事の方々の目標方針をお聞きください。挨拶は省略します。

2. 来賓紹介・ご挨拶



東京八王子南RC

会長 堀上 則夫様

幹事 溝口 勝巳様

堀上則夫様ご挨拶

八王子PCは創立15周年を迎えられました。その間、生涯学習サロンを毎年続けられ、また、この度の15周年記念事業では、子供たちへの奉仕活動の手はじめとして、宇宙の学校の講演を計画されたり、日野PC設立応援等の活動に感動です。その活躍は、素晴らしい会員の方々が揃いの会だから出来る事と確信します。

八王子南RCも創立25周年を迎えますが、その記念事業の際はご協力のほどお願い致します。

次いで、南RC堀上会長様より、助成金の贈呈がなされ、杉山会長が御礼を述べた。

3. 幹事報告 澤渡幹事

1. 年度発足時の会員 総数67名 前期休会員の近藤、濱野会員が復帰され、休会者0名。
2. 委員会動向：例会委員会から小林貞男会員が副委員長に推挙された。
3. 例会での席札、名札の正誤確認のお願い。
名刺は役職者で変更あった方のみ作成。
4. プロバス賛歌：歌詞カードの作成。
5. ハッピーコイン制度にご協力を。
自主的なものですが、例会を楽しませ、その人となりを知るという効用もあり、出来るだけ多くの会員の参加をお願いしたい。
6. 事務所のFAX番号が変わりました。

〒192-0056 東京都八王子市追分町 10-15

TEL 042-626-4343 FAX 042-649-6178

7. 幹事からの、アンケートにご協力を。

提出は8月12日の例会日まで

アンケート③の新規立ち上げのクラブ奉仕活動について、準備委員会を7月に発足。

メンバーは、会長、副会長、前会長、幹事、地域奉仕委員長の5名。

4. 幹事・副幹事方針



幹事 澤渡 進

副幹事 高取和郎

* ビジョン

いきいきとした未来志向のクラブを目指して

— [親睦] [奉仕] [創造] のより良き調和—

* 具体的目標

- 1 風通しの良い楽しいクラブライフづくり
- 2 年度方針の達成努力とクラブの円滑な運営
- 3 いきいきとしたクラブ活動のための適切な予算の作成・執行・管理
- 4 未来に向けた奉仕活動のあり方の検討

5. 各委員会方針

例会委員会 東山委員長



八王子プロバスクラブの例会は、次のような意味（目的）を持っていると思います。

1. 当クラブの存在を確認する場である。
2. クラブ会員相互の親睦、融和を醸成する場である。
3. クラブ活動（事業）の具体的発表の場である。
4. 過去の検証とクラブの将来を展望する場である。
5. クラブの目的である社会奉仕の精神を培う場である。

例会委員会はその目的を具現化させる例会の司会進行を担当、会員の皆さんに満足頂ける会を運営し、他の委員会をサポートすることが役目です。今年の会長方針に基づき次のことを推進します。

1. 当委員会は受付、配席、資料配布、集金等分

担を定め、各員が役割を確実に実行する。

2. 各委員会の活動報告は、委員長を中心に斬新なテーマと工夫による発表を期待します。
3. 卓話については硬・軟相混ぜたテーマのご提供を頂き、たまには落語、大道芸等を計画。
4. 小さな幸せをみんなで大きくしてあげるハッピーコインの啓蒙。
年末にハッピーコイン大会開催。
5. 例会配席は7.8月は委員会単位、9月以降全席自由とし、会員相互の親睦、交流を深める。
以上の活動方針を基に委員一同鋭意頑張りますので、ご協力のほど宜しくお願い致します。

情報委員会 吉田委員長

* 情報委員会の主な仕事は次の三つです。



- 1 「プロバスだより」の発行
- 2 ホームページの維持管理
- 3 生涯学習サロン抄録発行

* 「プロバスクラブ」の発行について、次の三項目を目標・課題とします。

- ① 読まれる「プロバスだより」づくり
 - ・例会記事は簡潔に、役に立つ記事を中心に
 - ・過去の記事は記録を必要とするものに限定
 - ・投稿・卓話記事に重点を置く
 - ② 編集の省力化、効率化
 - ・誰もが編集出来るように編集作業を標準化
 - ③ 組織運営、組織の活性化
 - ・編集、写真、取材の3グループにわかれ、全員で役割を分担し仕事を進める
- * ホームページの維持管理と、生涯学習サロンの抄録発行には質の向上に努めます。

会員委員会 川村委員長



会員委員会は、皆様のご協力を得ながら二つの活動計画を立てて会員一同頑張ります。第一の計画は会員確保であります。

プロバスクラブの財産は人材、すなわち会員です。稼働人員は現在67名ですが、会の運営面を考慮すると70名の確保が必要と考え、会員一同努力します。皆様のご協力をよろしく

お願い申し上げます。

第二の計画はクラブ会員の一体感の醸成であります。プロバスクラブに入会した時、なかなか会の雰囲気にとけ込めず気後れしてしまい、一人でしょんぼりしてしまう等の気持ちになったのは私だけでしょうか。

新旧会員の交流などの機会を模索し、会員が一体となって楽しいクラブ生活が送れるよう雰囲気づくりに努めてまいります。

研修委員会 土井俊玄委員長



研修委員会は今まで通り、次の三つの仕事をして参ります。

1. 卓話の運営。
2. 同好会の助成。
3. 全員の研修と相互理解の深化。

本年はこの三つの仕事以外に新しい試みに挑戦して参ります。

- ① 「出前講師のリスト作成」わがクラブより知的奉仕を外部に発信するもの。
- ② 「特別講話の外部講師の発掘とリスト作成」外部からの知的刺激を受けることにより、当クラブの活性化を図る。
- ③ 従来の日帰り研修旅行にかわる半日程度の研修と親睦の会を実施する。

11月11日(木)の例会日に「夕やけ小やけふれあいの里」にて行う予定です。

地域奉仕委員会 下田委員長

スローガン 「遊心(ゆうしん)」

＝楽しむ遊びと技術屋が
言う遊び(ガタ=ゆとり、余裕)
「あそびの心で社会を学ぶ」
「あそびの心で奉仕を学ぶ」
「あそびの心で親睦をはかる」



遊心には、楽しむあそびと、余裕のあそびの二つが入っている。

- ① 15周年を区切りとして、将来に向けての地域奉仕活動の在り方の検討
- ② 口込みによる一般会員の獲得
- ③ 参加費の低減の検討
- ④ 魅力のあるテーマの選定
- ⑤ 当委員会の仲間意識の醸成

交流担当 山崎委員



全日本プロバス協議会副会長の立川会員を補佐し、他クラブ特に関東ブロックとの交流を深める。

1. 具体的方針

- ① 関東ブロック交流会の建て直し(全日本理事の鎌倉クラブと連携)
 - ② 近隣クラブ、友好クラブとの交流各行事の案内と懇親
 - ③ 「プロバス出前講師派遣」の交流(研修委員会と共同)
 - ④ 八王子南ロータリークラブとの連絡窓口、例会、各行事の案内等
 - ⑤ 八王子市民活動協議会の窓口
2. 全日本プロバス協議会「旭川総会」・懇親会及び市内観光
日程：9月12日～14日
参加者：16名(予定)
3. 15周年記念行事
招待者及び各クラブの参加者への応対

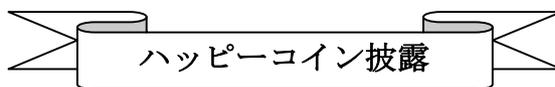
6. その他

○シニアダンディーズ誕生 立川富美代会員
今までの「ハニカミおじさん合唱団」が上手になり、「シニアダンディーズ」と改名しました。10月17日の15周年記念式典の後の懇親会に重要な役割で出演します。

7. 委員会毎の打合せ

8. プロバスソング斉唱

9. 閉会挨拶 佐々木研吾副会長



- ◆ 初めての役員でドキドキわくわくしています。コインを二枚入れますので、この一年、ご協力よろしくお願ひいたします。東山 榮
- ◆ プロバスクラブの皆様、9ヶ月の間長いお休み有難う。皆様方のお陰で頑張れました。応援有難う。濱野 幸雄
- ◆ 長い間プロバスクラブを休みました。しばらくは杖をつけて毎回出席しようと考えています。お邪魔でしようがよろしく。

濱野 幸雄

◆ 私は昨日 75 才の誕生日を迎えました。私には女 2 人、男 1 人ですが、それぞれが皆、2 名以上の孫に恵まれて、[大学 2 名(男)、高校 1 名(男)、中学 1 名(女)、小学 4 (男)、3 (男)、1 (女)]合計 7 名います。皆元気で頑張っています。 濱野 幸雄

◆ 旧年度の決算もめでたく完了。皆様のお陰をもちまして一年間なんとか努めさせていただきました。感謝申し上げます。下山 邦夫

◆ 「2009 年～2010 年度決算報告」、全会員の汗と努力の結晶を代表して報告できることに感謝・感激、ハッピー、ハッピー！荒 正勝

◆ ついにこの日が来てしまいました。喜寿
浅川 文夫

◆ 乾杯「はやぶさ」 浅川 文夫

◆ 6 月例会で誕生祝いをいただきました。あれから 2 週間、誕生日を無事迎えました。76 才。「もう」なのか「まだ」なのか思案する年令です。今後ともよろしく 橋本晴重郎

◆ 昨年 7 月 9 日に心臓で倒れ、今日で丸一年経過しました。この一年元気に活躍できた事に感謝して 2 コイン。 土井 俊玄

◆ 「ボケないマージャン」研究会も 5 回目。まだまだ役も用語も覚えられませんが皆さんにご指導いただきながら楽しい時を過ごしたいと思います。今回 3 等になりました。

有泉 裕子

◆ 杉山年度を祝して 有泉 裕子

◆ 7 月 18 日、伊藤忠商事金沢支店開設 65 周年の会で 100 名近い旧社員が集います。出席予定者中、高齢 3 番目となり驚いています。苦楽を共にした連中と久々に会えることを楽しみにしています。 竹内 賢治

◆ 白内障の手術をいたしました。大成功で両目とも 1.2 も見えます。人様のお腹の中もよく見えるので楽しいですなあ。 立川富美代

◆ クラブ会員候補の推薦をよろしく願い申し上げます。 会員委員会 川村 真

◆ 日本チームのワールドカップ決勝トーナメント進出で、私が 3 年半過ごしたパラグアイ

が、国内でも少し知られるようになりました。両軍の健闘をたたえて。 橋本 鋼二

◆ 創立 15 周年を迎え、クラブのますますの発展と 15 周年記念事業の成功を祈ります。

佐々木研吾

◆ 健康に恵まれ、無事に**光輝**かつ**高貴**高齢者の仲間に入ることが出来ました。感謝です。

岩島 寛

◆ 先週、熊野古道に初めて行き感動しました。今度は 1 人でゆっくりと歩こうと思います。

増田 由明

◆ 新年度に入り、情報委員会の仕事が楽しく出来ることを願って。

吉田 信夫

◆ 新年度が始まりました。仰せつかった役目、楽しくゆっくりと努めさせていただきます。

高取 和郎

◆ 本年度の最初の例会、本年も良きプロバス活動が出来ますように。

宮崎 浩平

◆ ハッピー 杉山会長おめでとう。麻雀大会 3 回目で優勝する。

荻島 靖久

◆ 何はともあれ、新年度の始まりを祝す。良き 1 年でありますように！

佐々木 正

◆ 今年 1 年、感じのいい幹事でいたい。

澤渡 進

◆ 何の足跡も残せないまま歳を重ねて 71 年これからも平々凡々の日が続きそう。皆様今後ともよろしく。

澤渡 進

◆ 新年度がスタート致しました。1 年間宜しくお願い申し上げます。

杉山 友一

創立 15 周年記念事業

7 月 8 日の臨時総会（前述）にて、佐々木研吾事務局長より、10 月 17 日の創立 15 周年記念事業の準備状況、実行委員会組織、特別会計予算案の説明があり、予算案が承認されました。

《記念事業》

- 青少年育成事業 於八王子市民会館
- ・ 記念講演会「宇宙と友達になろう」
- ・ 記念音楽会「君に届けたい愛のコンサート」
- 記念式典・懇親会 於八王子エルシィ

・クラブ 15 年の歩み・長期在籍者顕彰・参加者
全員に記念品贈呈

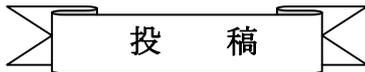
・アトラクション:楽しいミュージカルの世界へ、
映画「サウンド・オブ・ミュージック」より、
映像と歌のコラボレーション

(出演 田中三佐代さん他)

○東京日野プロバスクラブ創立支援

○自クラブ紹介用、広報パンフレットの製作

○15 周年記念誌の発行



郷愁の味

高瀬 謙輔

例年のことながらお正月・お盆の時期になると
帰省ラッシュという民族の大移動が始まる。空の
便も列車も道路も大混雑・大渋滞にもかかわらず
、それを押してでも故郷に足を向ける。人は皆、
故郷が恋しくなるというが、故郷には一体何があ
るのだろうか。確かに両親、兄弟、幼なじみに会
える楽しみがあるが、それだけでは十分な説明が
つかないように思える。それと一緒に故郷には懐
かしい思い出が一杯詰まった宝庫である事が人
の気持ちを故郷に向けさせるということなので
あろう。この思い出には単に子供の頃の運動会、
学芸会、遠足ということだけでなく、故郷独特の
響き・音、ニオイや味というものが伴っているも
のと思う。



さて、本題の郷愁の味とい
えば、その土地名産の山の幸
や海の幸をふんだんに使った
“お袋の味”が代表的なもの
になるのだろうが、私の“郷
愁の味”はどこにいても簡単

に手に入り、手軽に作れる“お好み焼き”である
。焼きたてのアツアツをハフハフ食べるお好み焼
きと鉄板にこぼれ落ちた焦げたソースの香りと
味・・・最高の味で何よりの好物であった。駄菓子
屋には黒アメ、塩豆、金平糖、ハッカ、ラムネ
、みかん水等、子供が欲しがらるお菓子類を中心
に売っていたが、私のお目当ては何と言ってもお好
み焼き。この郷愁の味が忘れがたいばかりか、思
い入れはどんどんエスカレートし、新婚時代から

自宅で簡単に作れるようにと食卓テーブルはガ
スコンロがついたもので鉄板を置けば専用テー
ブルに変身できるものであった。現在はひと回り
大きな鉄板を使い二代目テーブルを愛用してい
る。これだけ病みつきになると、単に食べるだけ
でなく、そのルーツというか身元調べに興味湧
いてくるのも自然の成り行きである。どんな料理
もそうだと思うのだが、その料理の成り立ちや始
まりは大変曖昧且不鮮明で誰が、いつ、どうい
うきっかけで創り出したかなど到底わかるもの
でないと云われている。

お好み焼きも同様で、強いて言えば鉄板が普及
したことによって江戸時代に焼菓子屋(今川焼や
ドラ焼等)が踵を接して誕生したことがルーツで
ないかという程度である。これらはいずれも水で
溶いた小麦粉を鉄板で焼いたものだからである。
この様な経過を経て、明治の終わり頃に東京にお
いては“もんじゃ焼き”につながっていったので
はないかと考えられている。このもんじゃ焼きの
出自が駄菓子屋で、家庭ではまねのできない大き
な鉄板一枚の威力によって子供達にママゴトと
買い食いの楽しみを与えていった。子供相手のも
んじゃ焼きが商売になることがわかると店を持
てないオジサン達により太鼓を叩きながら売り
歩く“どんどん焼き”が東京の下町で考え出され
たようである。このどんどん焼きは大阪、神戸、
広島地方へ思わぬ広がりを見せ、これら地域にお
いては、その後一銭洋食と名前をハイカラにし
、同地域の駄菓子屋に根づいていったと云われて
いる。駄菓子屋での隆盛は昭和三十年頃まで続い
たとみられており、これは私の記憶と一致するも
のである。

一方お好み焼きの変遷の中では外国からの影
響もあったと考えられている。お好み焼きの雰
囲気を最もよく伝えているものに韓国のチジミ
という食べ物がある。終戦後、日本にとどまった韓
国人の人達は故国で味わったチジミの味を思い
出しながら、資金と材料に比較的苦勞のいらない
お好み焼き屋をごく自然に考えついたとのこと
である。その他の国々においても似通った食べ物
がいくつかあるが、一般的に知られているものと

してはイタリアのピザ、フランスのクレープ、メキシコのタコス、中国では北京ダックを包むパーピン、そしてアメリカ人のお袋の味と云われているパンケーキ等である。

当世流のお好み焼はミックス焼・スペシャル焼きと称して魚介類はもとよりチーズやお餅等まきにお好みの具を入れたものがあるが、私の作るものは駄菓子風ベースの具（玉子、豚肉と先が見通せるくらい薄く切った蒲鉾二〜三枚、紅ショウガと天カス）と少量のかくし味程度である。お好み焼きには全く馴染みのなかった家内や義母はすっかりファンとなっている。近年はわが家に食べに来てくれる孫達にとっても郷愁の味になってくれればと秘かに期待しているところである。（完）



「中国は怖いですか？」 田中 信昭

6月末、8年振りに中国を訪れた。といっても今話題の上海万博ではなく、以前の「船旅」の時の太極拳の指導者・リン先生（女性）を訪ねて、仲間との「北京健康志向気まま旅」。

いきさつ

昨年の「船旅」に中国人の富裕層グループが乗り合わせていた。飛鳥Ⅱのような豪華客船の旅と間違えて我々のピースボートに乗り込んだものだから、金で思うようにならず、トラブル続きだったようだが、旅の最終段階でその中の一人（ジャーナリストの女性）が講演会を開いた。題して「中国は怖いですか？」

講師の主張は、例えば「南京大虐殺事件」のような、戦時中の日本軍が中国で行った非道な行為に対して、日本人は全く無関心、学校でも全く教えないという例の教科書問題を鋭くアピールするものであった。聴衆のうち若者は無関心、大部分の熟年層も最早その事実を知る者は少なく、過去のこととして忘れ去ろうとしているが、会場は大変険悪な雰囲気になった。そんなことがあって以来、改革開放後大きく発展した今の中国の現状を知らずして、中国を語ることはできないと思い、一般市民レ

ベルの生活実態を知りたいと強く思っていた。

予想外の歓迎セレモニー

広大で池のある古風な中国式中庭付きのホテルの一角を借り切り宮廷料理に始まって顔の広いリン先生が呼び集めた若手の音楽家、舞踊家、芸人による出し物や薬膳の専門医の紹介など大歓迎の宴で迎えられ、先ず驚きと感激の一夜。

北京には青空がなかった！

翌日からは早朝の太極拳に始まり、北京の市街見物と東洋医学の名医と言われる先生方による診療と健康アドバイス。ぎっしりと立ち並ぶ30階、40階建の高層ビル群、立派に完成した高速環状道路。東京同様オリンピックを契機に大きく発展整備された北京の街並は以前とは全く違った景観であったが、最も驚いたのは滞在した5日間、街は濃いスモッグに覆われスッキリとは見渡せないことであった。かつて有名であったあの自転車の洪水に代わって居並ぶ車の列（日本車が少ない！）しかし、北京の人達は青空が見えないどころかホンの数百m先が霞んで見えないこの現状を一向に気にしていない様子。折角の世界遺産「頤和園（いわえん）」の風景も湖の向こう岸が霞んで見えなかったのだが。



公園は中高年市民の遊び場

これは以前もそうであったが、天壇公園のような樹木の多い公園には至る所で早朝から中高年の男女が踊り、歌い、太極拳のような動きをしている姿がある。社交ダンスや最近では羽つきの蹴鞠版のような遊びが流行っている。木の股に脚を擦り付けてマッサージをしている老婦人たちもいる。病院で手術を宣告された静脈瘤をこの方法で治してしまったという。その中の先生然とした風格の老婦人、何とリン先生のお母さんだった。84歳！

おのぼりさんの大群

例によって天安門広場の大量の群衆。以前にも増して中国各地方からの観光客グループでごった返していた。毛沢東の遺体を拝むために延々と続く大行列！もしこの人達が自由を叫んで自分たちの好き勝手な方向に向かったら・・・あるいは誰かアジテ

一ターがとんでもない方向に仕向けたら・・・と想像すると背筋がゾットした。やはり共産党でも何でもよい、しっかりした方向付けをする強い政治が必要だと心底から感じた。

中国で安物買いをする日本人／日本で本物買いに大金を使う中国人

中国茶を売る店が何百軒も集まった言わばお茶のスーパーマーケットや大骨董品市場等を見学したが、お客はまばら、これで商売が成り立っているのか。スーパーマーケットでは我々外国人客が入ると、ブランド商品を並べた店からカタログを手にした店員が猛烈な勢いでPR合戦。ヨーロッパ製品のみならず、日本の有名ブランドも。お土産は買わぬと決めて来た今回のツアー、しかしつい手荷物が増えてしまっていたので手頃なスーツケースがあればと覗いてみた。日本での定価に近い1,600元(約22,000円)から始まった値段交渉、遂に最後は何と300元(4,200円)になった。どこから見ても立派な製品で、決して安かろう悪かろうという粗悪品ではなかった。一方日本へ来る中国富裕層は何百万円の買い物をして帰る。本物が買えるのが嬉しいという。北海道には不動産を買いあさっている不動産成金が一杯来ている。この極端な対比！

中国はやっぱり怖い！

今回の短い旅でお会いした人々は皆さん友好的。料理は安くてうまいし、このような市民レベルでのお互いの交流、理解が如何にも大切だと感じたことであつた。しかし、14億人ともいわれるその人口の多さ、ほんの10数年前のあの頃の中国の状況に比べると余りに急速なその発展振りに得も言えぬ恐ろしさを感じつつ帰路についたことであつた。

「又来てねー」と優しい笑顔で手を振り続けるリン先生の姿を後に、“やっぱり中国という国は怖いぞ”

(完)

《つぶやき》

定年、六十歳の誕生日を過ぎた頃、地域の老人会から入会を誘う案内が届く。たぶんP.Bのメンバーは引き続き在職中であつたろうから、一瞥して屑籠に投げ入れたであろうが、とうとうそんな時期に来たかという感慨だけが頭の隅に居座ることになる。やがて任期も終わり、退職の日を

迎え、一日二十四時間、完全に自由の身になるのだが、老人会に入会してゲートボールや民謡大会を楽しむ気にはなれない。たしかに待望していた自由や解放感を味わうが、糸の切れた凧のようにどこへ飛んで行くのが正解なのか分らない。方向感覚の喪失である。

顧みれば、小学校入学から六十年前後の長きにわたり、何らかの組織に帰属し、学ぶか、働くか、遊ぶかのいずれかを、ほとんど他律的に生きてきた。時の流れに身を任せ、折に触れて喜怒哀楽を感じたが、少しばかりの辛抱に耐えているうちに時は過ぎ、自ら律すべき老の日々を迎えたのである。そんな諸君の受け皿としてプロバスクラブが誕生した。十周年の記念誌に「高齢化社会を展望し、第一線を退いた実業人や高齢の専門職業人を対象として、その豊かな経験と知識を活かした新しい舞台を提供しよう」と言う趣旨で設立。と書いてあるが、このクラブ設立の提唱者は、当時、南ロータリークラブの会長、今期わがプロバスクラブの会長に就任した杉山さんである。

生みの親が新たなる目標を掲げ、育ての親への変身である。更なる試行錯誤を重ねて集団のレベルアップを図って戴きたいものである。

先日、新聞の投稿俳句欄に“先頭を走ることなく完走す”とあつた。日立市に住む梅津さんの句である。わがクラブの構成員は、いずれも先頭集団を音高く走り抜いてきた人たちである。クラブを楽しくも又、己を高める研鑽の場として活かし再び完走してほしいものである。(S)

「プロバスだより」記事投稿へのお願い

①趣味、②旅行記、③座右の銘、モットー、④調査研究⑤社会活動、など内容は広範囲です。勿論自発的投稿は大歓迎です。

尚、短編記事の《つぶやき》欄を設けました。無題、無記名、ニックネーム、いずれも自由です。

編集後記：新年度の『プロバスだより177号』をお届けします。会員の皆様に読まれる会報を目指しました。投稿記事への投稿など、ご支援をお願いします。情報委員会(吉田)